



ロゴデザイン：後藤章

公益財団法人武蔵野市福祉公社

武蔵野市福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和55年に設立した在宅サービス提供機関です。誌名「羅針盤」は、ご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を示したものです。

誌面より

- 令和4年度新年度講話「福祉公社は地域社会を支えるメインプレイヤー」・・・P1
- 地域で育てる介護の担い手
- 新入職員にインタビュー・・・P2
- 子どもの日
- 家族に感謝の日
- みどりの輪「親の介護・子育て・仕事」をテーマに開催します！・・・P3
- お知らせ・リレーコラム・・・P4

令和4年度新年度講話

「福祉公社は地域社会を支えるメインプレイヤー」

福祉公社の研修委員会では、年間を通して職員向けに様々な研修を企画しています。新年度を迎えた最初の研修は、4月28日にオンラインで開催しました。森安理事長による「新年度講話」と、伊藤常務理事による「コンプライアンスについて」です。当日参加ができない職員のためには、後日動画も配信しました。

森安理事長による研修のテーマは「2040年の社会と高齢者の姿から考える福祉公社の役割」です。要介護認定率や平均寿命の推移、世帯類型の比率や生涯未婚率など、さまざまなデータを基にした2040年の高齢者像等の内容でした。「平均像で捉えられない多様性のある社会となる。世帯単位から個人単位へ。変化に対応すべく、常にアンテナを張り、福祉公社があって良かったと市民から思われ続けるよう、取り組んで行こう」とのメッセージでした。

伊藤常務理事の「コンプライアンスについて」は、福祉公社の職員としていかに信用が大切かとお話でした。「時代と共に法令も社会規範も変化する。職員の自覚がなくてもコンプライアンス違反にあたる可能性もある。その都度きちんと自ら考え、確認し、見極めることが大切である」との内容でした。業務上、時に自己判断しがちですが、改めてコンプライアンスの大切さを学びました。

両講義とも、福祉公社の職員としての役割や責任を自覚し、現在と将来において「何をしたら良いか」について考えるきっかけになりました。（研修委員会 白須）



▲ 自席でオンライン視聴する職員たち



▲ 講話（森安理事長）配信の様子

地域で育てる介護の担い手

介護職員初任者研修

2022年6月1日～8月29日(25日間)



地域包括ケア人材育成センターは毎年、東京都介護員養成研修事業者の指定を受けて「介護職員初任者研修*」を実施しています。今年度は5月中旬に受講者を募集、12名の定員を満たし6月1日開講となりました。8月29日の修了式に向け、これから講義、演習・実習が続きます。

全国様々な研修機関が実施している本研修ですが、人材育成センターの大

きな特徴は「少人数ならではの手厚さ」「地域の独自性」です。講師には、地域で介護・福祉に従事している実務者を招き、より実践的な話を交えた講義内容となっています。

地域の介護の担い手を育てるのもまた、現任の介護の担い手。人材育成センターは、皆様と共に、武蔵野の介護業界を盛り上げていきます。(地域包括ケア人材育成センター 桑谷)

*介護職員初任者研修

介護職としての基礎的な資格。各都道府県が指定する研修機関にて受講し、修了すると「有資格者」として訪問介護等に従事することができる。

新入職員にインタビュー

◆ 4月に入職した3名の職員に仕事の感想を聞いてみました！



澤田 亜藍 (高齢者総合センターデイサービスセンター)

「初心忘るべからず」のまさに初心となる日々を過ごして2か月と少しが経ちました。

4月から新社会人として福祉公社に入職し、デイサービスセンターでの勤務が始まると、すべてが新しい環境でなにもわからず戸惑ってしまうこともありましたが、それでもご利用者の皆様はそんな私に笑顔でお話してくれて、そして「ありがとう」と言ってくれました。この時に感じた気持ちを「忘れてはならない初心」として胸に刻みたいと思います。



遠藤 アリサ (北町高齢者センターコミュニティケアサロン)

配属されて2か月が過ぎましたが、先輩職員は物事を一つひとつ丁寧に教えてくれます。現在は、ご利用者と一緒に体操やお話をしてコミュニケーションをとっています。初めてのことが多く、まだ教わったことをきちんとこなしていくことに精一杯で、周りの方にも迷惑をかけてしまいます。覚えるのはゆっくりでも失敗を減らしていけるように、日々を大切に、様々なことを吸収できるように頑張ります。私らしく明るい対応をしていけたらと思っています。



長尾 琴音 (高齢者総合センター 在宅介護・地域包括支援センター)

私の配属先では、市民から窓口や電話で相談をお伺いしたり、自転車でご自宅や施設を訪問して、ご様子の状況を確認しています。日頃の運動不足がたたり筋肉痛になって、自転車はおろか歩くのも大変でした。毎日新しいことの連続ではありますが、先輩方の指導のもと有難いことに日々楽しく業務にあたる事ができています。日々学ぶ姿勢を忘れずに、いち早く戦力となれるよう、また地域の皆様のお力になれるよう精進していきたいです。

子ども の日



5月2日、みずきっことオンラインにて子どもの日の交流を図りました。フロア前面に飾った鯉のぼりは、折り紙を貼り合わせ鯉のウロコに仕立てました。ご利用者は5月人形をご覧になり「子どもが小さい頃に飾ったわ」と懐かしむ声が聞かれました。兜を被り、子どもたちと「こいのぼり」のメロディーを楽しみ穏やかな時間が流れました。

子どもたちが真剣に工作している様子や、一生懸命歌っている様子を見てご利用者からはにっこり笑顔がこぼれました。(北町高齢者センターコミュニティケアサロン 村上)



家族に感謝の日



5月は「子どもの日」や「母の日」など家族に関連した日があったので、ご利用者が家族に対して感謝を伝えるイベントを設けました。一週間の中で「父・母の日」「祖父母の日」「子どもの日」、果ては「ペットの日」まで設定しました。ご利用者からは「お父様、厳しかったわ。お膳をひっくり返されたの」「お母さんに会いたいな」など、それぞれの想いが聞かれました。

最後に、カードに家族への感謝の気持ちをしたためました。写真は“愛してる”とのメッセージを受け取ったご家族の笑顔です。(高齢者総合センターデイサービスセンター 中村)



「親の介護・子育て・仕事」

をテーマに開催します！

在宅介護・地域包括支援センターで月一回開催している「家族介護教室みどりの輪」。今月のテーマは「ダブルケア」です。近年、新聞や雑誌で話題になることも多い、この「ダブルケア」とは、「介護と子育てを同時に行っている状態」を指します。

働きながら子育てしている世代が、ある日直面する親の介護。講師に、ダブルケア当事者団体「こだまの集い」代表理事・室津瞳氏をお迎えし、みんなで気楽に話し合う「土曜サロン」として開催します。お申込み受付中です！どうぞお気軽にご参加ください。(高齢者総合センター在宅介護・地域包括支援センター 加藤)



◀ 講師の室津 瞳さん。室津さん自身もダブルケアに直面した当事者。「子育てにも介護にも後悔しない社会に」と精力的に活動されています。

「ひとりじゃない！親の介護・子育て・仕事 ～みんなで話しませんか」

【日時】 6月25日(土) 13時30分～15時00分

【場所】 高齢者総合センター 3階講義室

【定員】 15名(申込制)

【講師】 室津 瞳氏
(NPO法人こだまの集い 代表理事、看護師・介護福祉士)

【申込】 高齢者総合センター在宅介護・地域包括支援センター

☎ 0422-51-1974

権利擁護センターより

＼ 老いじたく講座 好評です！ ＼



福祉公社は、3つのテーマ（老いじたくの基礎知識、成年後見制度について、エンディングノートの書き方講座）で「市民のための老いじたく講座」を定期的を開催しています。講師は権利擁護センターの職員が務めます。

70代、80代の参加者が多く、講座後のアンケートでも「老いじたくを始めるきっかけとなった」「質問もできて疑問が解消された」「福祉サービスの利用方法を知り参考になった」といった感想をいただくなど大変好評です。また、親と一緒に老いじたくについて考えたい、といった40代、50代の参加者もあり、市民の皆様の関心の高さがうかがえます。

6月・7月の日程を右欄に掲載しております。予約制ですので、是非お問い合わせください。（権利擁護センター 村山）

講座

● 成年後見制度について

- ・ 6月24日（金）13時30分～15時00分
@ 市民会館第2学習室
- ・ 7月8日（金）13時30分～15時00分
@ 福祉公社1階会議室



相談

◆ 法律相談（成年後見関連）

毎月第2火曜日（次回は7月12日 午後 / 予約制）

◆ 法律相談（高齢者にかかる一般法律相談）

毎月第4水曜日（次回は6月22日 午後 / 予約制）

【問合せ・申込み】

権利擁護センター ☎ 0422-27-5070

職員リレーコラム

お笑いのススメ

ホームヘルプセンター 武蔵野 宮本 涼子

「笑う門には福来たる」と言って常勤ヘルパーとして働きはじめて、ふと気がついたら最近しかめっ面になっている自分にハッとしました。子どもにも怒ってないのに「お母さん、何か怒ってる？」と言われる始末。毎週日曜日の夕方には欠かさず観ていた某長寿お笑い番組も録画がたまっていました。お笑い番組でストレス発散している私。特にこの番組の大喜利が楽しみで、司会者の判断で座布団をもらったり、とられたりと理不尽なところが面白い。メンバーの軽妙な会話のやり取りがたまらない。この春から新メンバーが加わ

り座布団運びの方も含めて平均年齢66歳。最高年齢85歳。収録の舞台裏では看護師が常に待機しているとのこと。高齢にもかかわらず元気で人間味溢れる個性派落語家の皆様には面白いだけでなく話術や人生観など学ぶことも多い。

コロナ禍、高齢化と深刻な問題の多い世の中。嘆いてばかりでは前にススメない。不謹慎かもしれませんが、そんな時こそ、笑顔で人生前向きに過ごしたいと思いませんか？！明るく元気に明日を迎えるためにも、笑顔を忘れず日々お笑いで心豊かに余裕を持って生きたいと思います。



今回は 権利擁護センター 松本 杏奈

福祉公社 各部署のご案内



<ホームページ>

◇ 武蔵野市福祉公社 <https://www.fukushikoshiya.jp>

◇ 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター

<https://www.m-machigurumi.jp>

◇ ホームヘルプセンター武蔵野

<https://help-musashino.jp>

営業時間 8時30分から17時15分（すべて共通）

武蔵野市福祉公社 本部

武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

- 総務課 ☎ 0422-23-1165
- 権利擁護センター ☎ 0422-27-5070
- 成年後見利用支援センター ☎ 0422-27-1238
- 生活自立支援センター（三鷹サテライト） ☎ 0422-66-2801
- ケアプランセンター ☎ 0422-27-5076
- ホームヘルプセンター武蔵野 ☎ 0422-23-2611
- 地域包括ケア人材育成センター ☎ 0422-20-3741

武蔵野市立北町高齢者センター 武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

- コミュニティケアサロン ☎ 0422-54-5300
- 子育てひろば・みずきっこ ☎ 0422-38-5150

武蔵野市立高齢者総合センター 武蔵野市緑町2-4-1

- 管理・社会活動センター ☎ 0422-51-1975
- 在宅介護・地域包括支援センター ☎ 0422-51-1974
- 住宅改修・福祉用具相談支援センター ☎ 0422-51-1974
- デイサービスセンター ☎ 0422-51-2933

広報委員会

編集後記

初夏を迎え、街路樹の緑もますます青々としてきました。毎日過ごしているうちにあっという間に6月となり、今年も半年が過ぎようとしています。

梅雨の時期となり、気分が落ち込みがちですが、梅雨明けを心待ちに1日1日を大切に過ごしていきたいと思う今日この頃です。（北町高齢者センターコミュニティケアサロン 村上）